

# ごみに関する市民アンケート調査結果

## 調査概要

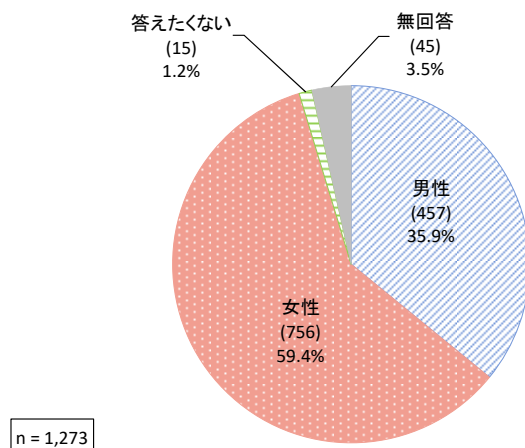
調査対象	河内長野市在住の18歳以上の2,000人(住民基本台帳から無作為抽出)
調査方法	郵送配布・郵送回収
調査期間	2020年8月21日～9月7日(9月16日まで延長)
回収結果	有効配布数：2,000件 有効回収数：1,273件 有効回収率：63.7%

注) 表中・グラフ中の構成割合は、少数点第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

## 問1 あなたご自身のことについてお聞きます。

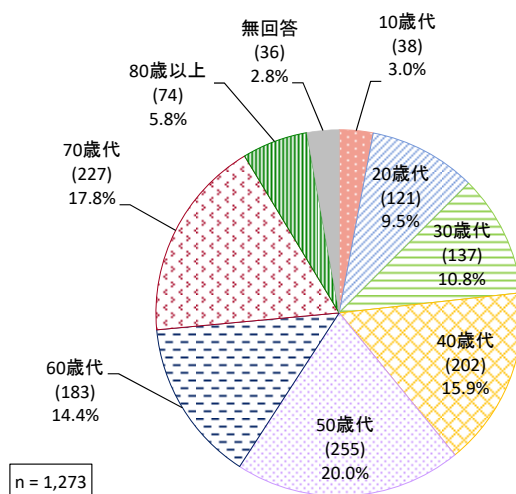
### (1) 自認する性別

回答者の自認する性別は、「女性」が59.4%で最も高く、次いで「男性」の35.9%などとなっています。



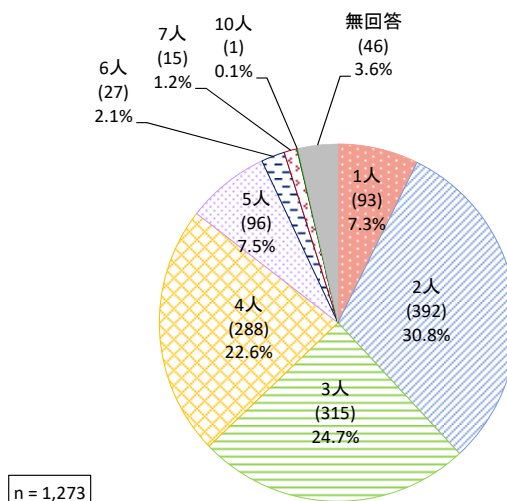
### (2) 年齢

回答者の年齢は、「50歳代」が20.0%で最も高く、次いで「70歳代」の17.8%、「40歳代」の15.9%、「60歳代」の14.4%などとなっています。



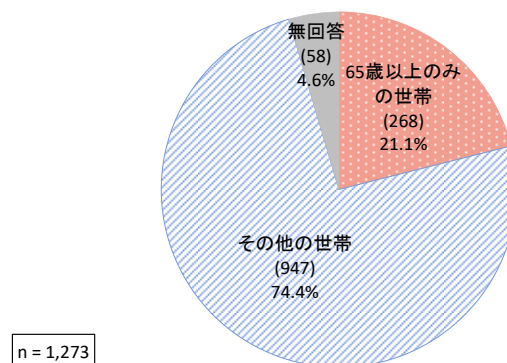
### (3) 同居家族の人数

回答者の同居家族の人数（回答者本人を含む）は、「2人」が30.8%で最も高く、次いで「3人」の24.7%、「4人」の22.6%などとなっています。



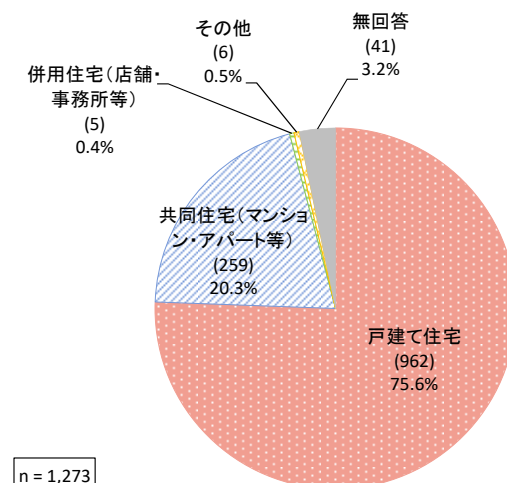
### (4) 家族構成

回答者の家族構成は、「65歳以上のみの世帯」が21.1%となっています。



### (5) 住宅形態

回答者の住宅形態は、「戸建て住宅」が75.6%で最も高く、次いで「共同住宅（マンション・アパート等）」の20.3%などとなっています。



### (6) ごみ集積所までの距離

回答者の住宅からごみ集積所までの距離（片道）は、「10m以下」が27.7%で最も高く、次いで「11～30m」の24.0%などとなっています。

ごみ集積所までの距離	回答数	回答割合
10m 以下	352	27.7%
11～30m	306	24.0%
31～50m	162	12.7%
51～100m	156	12.3%
101～200m	46	3.6%
201m 以上	36	2.8%
無回答	215	16.9%
合計	1,273	100%

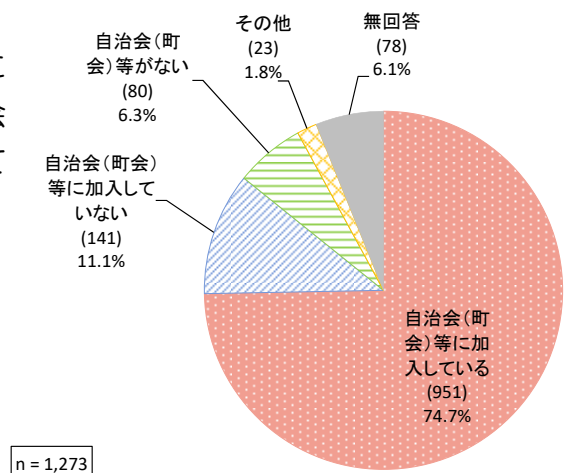
### (7) お住まいの小学校区

回答者のお住まいの小学校区は、「長野」が 14.1%で最も高く、次いで「千代田」の 12.6%、「三日市」の 10.5%などとなっています。

小学校区	回答数	回答割合
長野	180	14.1%
小山田	96	7.5%
三日市	134	10.5%
天見	6	0.5%
川上	105	8.2%
千代田	161	12.6%
楠	115	9.0%
天野	60	4.7%
高向	52	4.1%
加賀田	86	6.8%
石仏	58	4.6%
美加の台	87	6.8%
南花台	91	7.1%
無回答	42	3.3%
合計	1,273	100%

### (8) 自治会の加入状況

回答者の自治会の加入状況は、「自治会（町会）等に加入している」が 74.7%で最も高く、次いで「自治会（町会）等には加入していない」の 11.1%などとなっています。

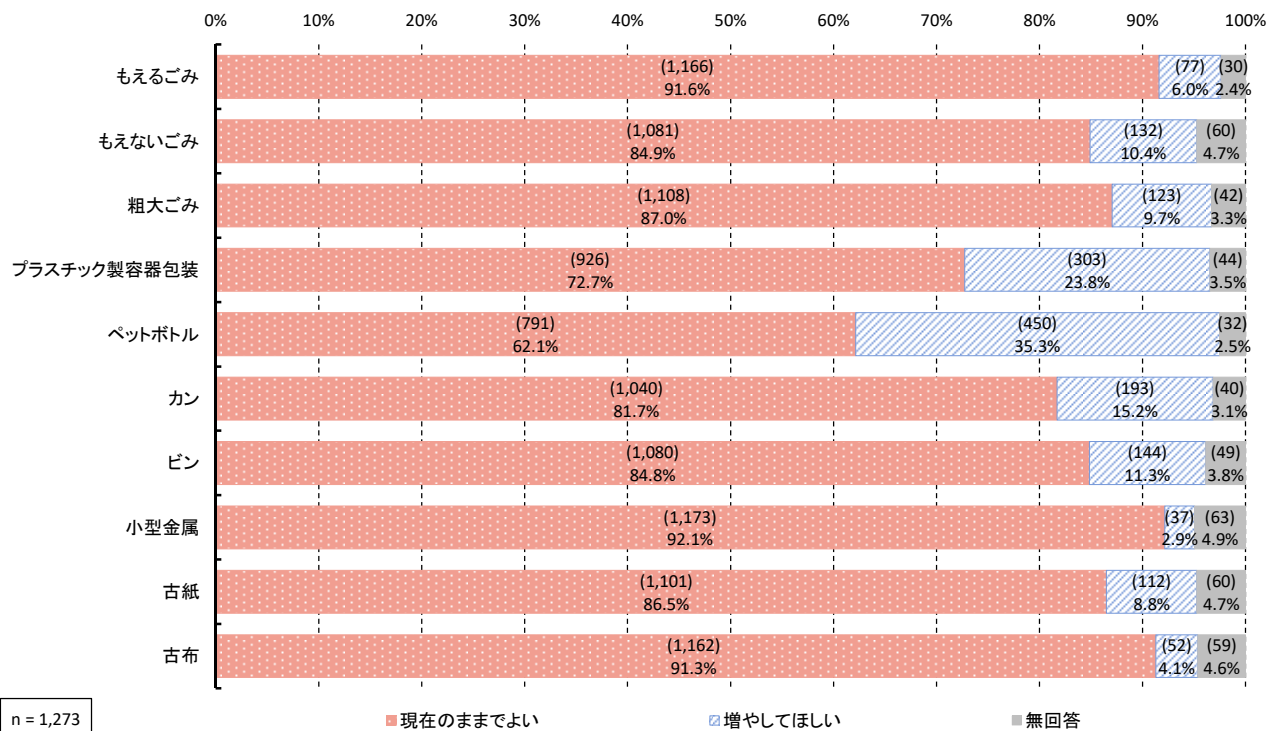


## 問 2

本市では、家庭から出るごみを下記の収集頻度でステーション方式（集積所に出されたごみを収集）によって収集していますが、現在の収集頻度についてどう思いますか。【あてはまるものにそれぞれ1つだけ○】

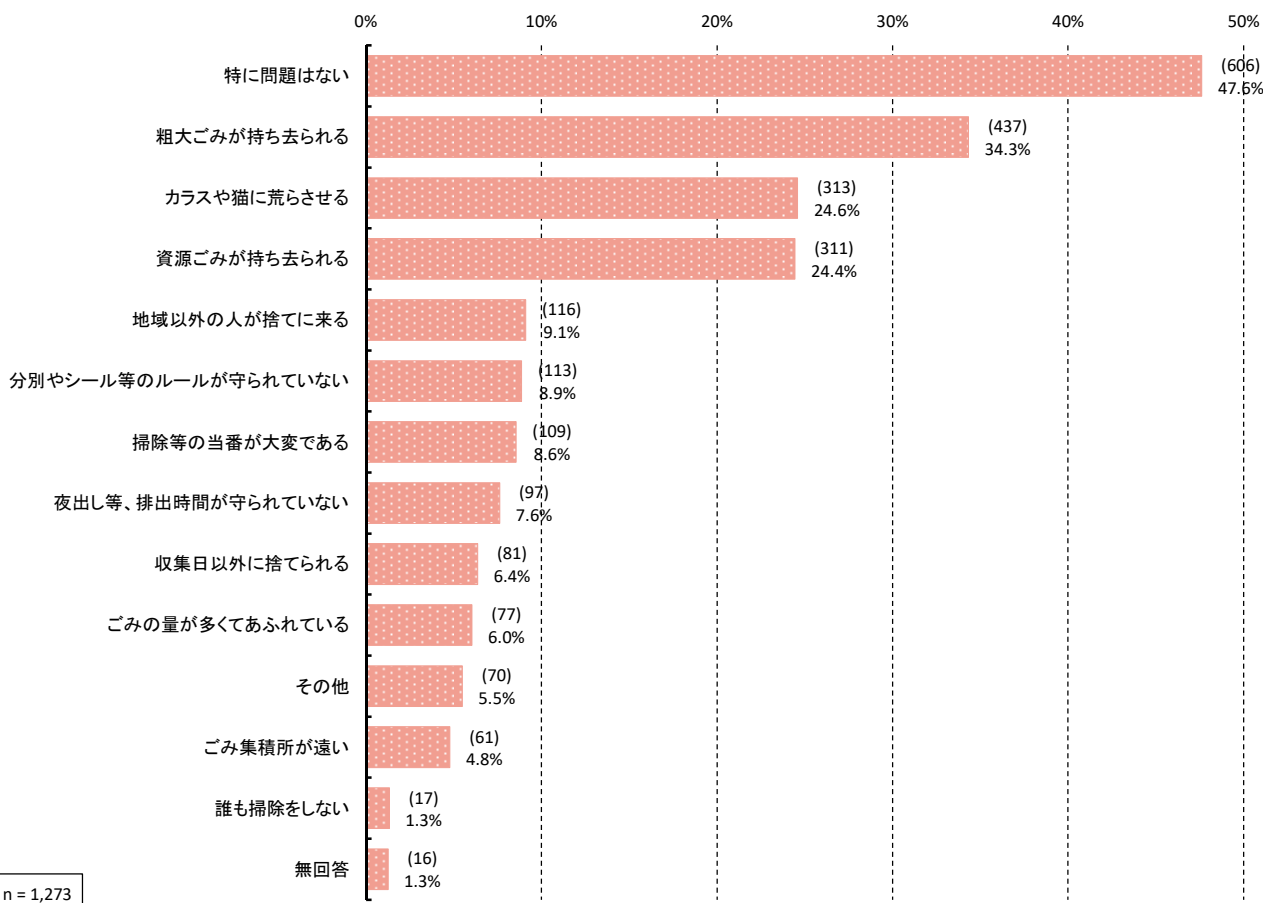
「現在のままでよい」と回答した者の割合は、「小型金属」が92.1%で最も高く、次いで「もえるごみ」の91.6%、「古布」の91.3%などとなっています。

一方で、「増やしてほしい」と回答した者の割合は、「ペットボトル」が35.3%で最も高く、次いで「プラスチック製容器包装」の23.8%、「カン」の15.2%などとなっています。



**問3** 地域のごみ集積所の状況についてどう思いますか。【あてはまるもの全てに○】

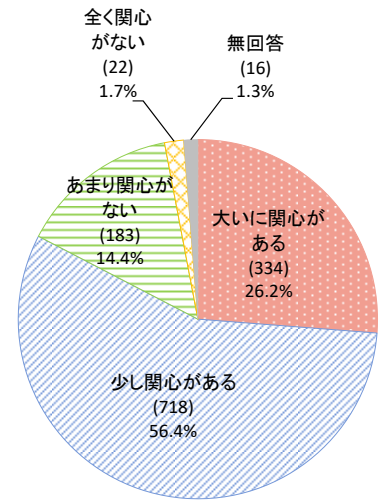
回答者の割合は、「特に問題はない」が47.5%で最も高く、次いで「粗大ごみが持ち去られる」の34.3%、「カラスや猫に荒らされる」の24.6%、「資源ごみが持ち去られる」の24.4%などとなっています。



**問 4** あなたは、ごみの減量やリサイクルなどのごみ問題に関心はありますか。【あてはまるものに 1 つだけ○】

「少し関心がある」と回答した者の割合が 56.4%で最も高く、次いで「大いに関心がある」の 26.2%などとなっています。

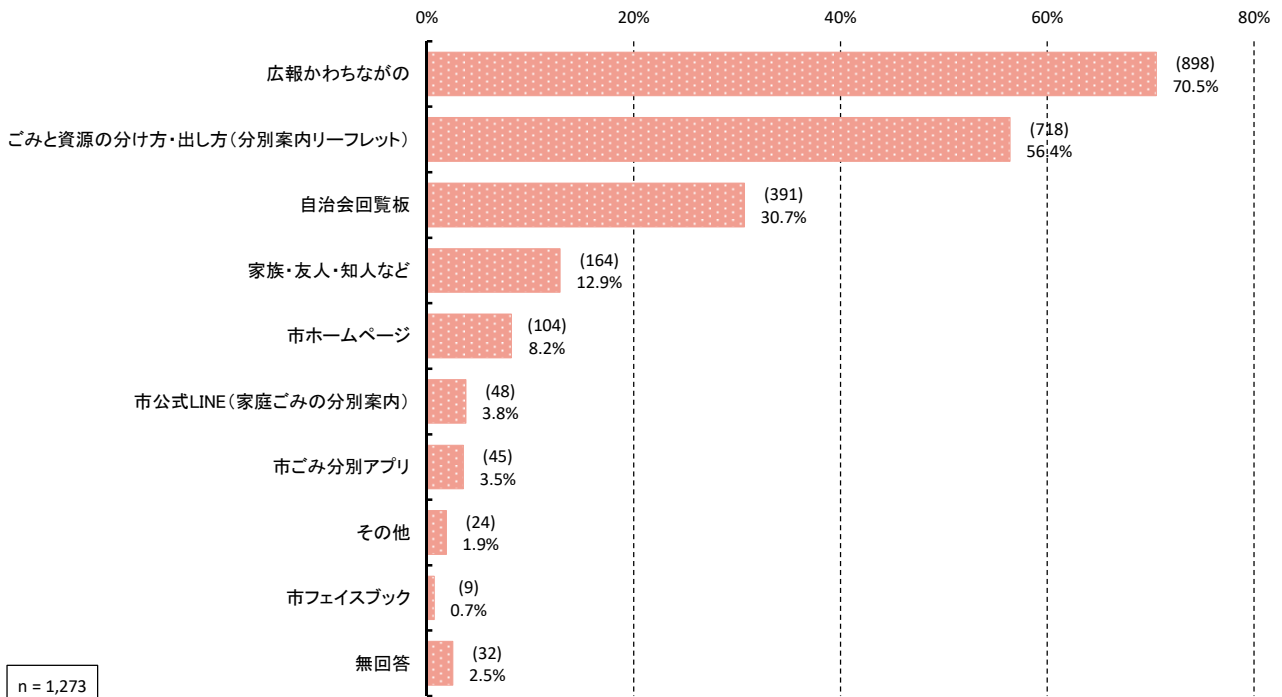
「大いに関心がある」及び「少し関心がある」と回答した者の割合を合わせると 8 割以上となっています。



n = 1,273

**問 5** あなたは、本市のごみの減量やリサイクルなどに関する情報を何から得ていますか。【あてはまるもの全てに○】

「広報かわちながの」と回答した者の割合が 70.5%で最も高く、次いで「ごみと資源の分け方・出し方（分別案内リーフレット）」の 56.4%、「自治会回覧板」の 30.7%などとなっています。



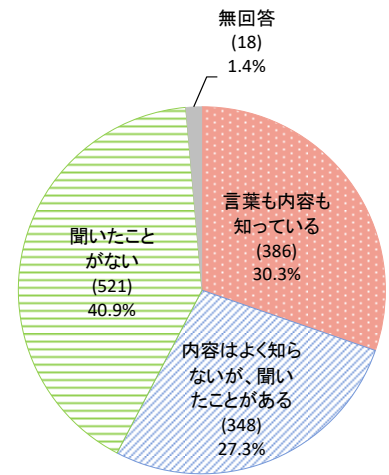
n = 1,273

**問 6** あなたは、「3R（スリーアール）」という言葉を知っていますか。【あてはまるものに1つだけ○】

「聞いたことがない」と回答した者の割合が40.9%で最も高く、次いで「言葉も内容も知っている」の30.3%、「内容はよく知らないが、聞いたことがある」の27.3%となっています。

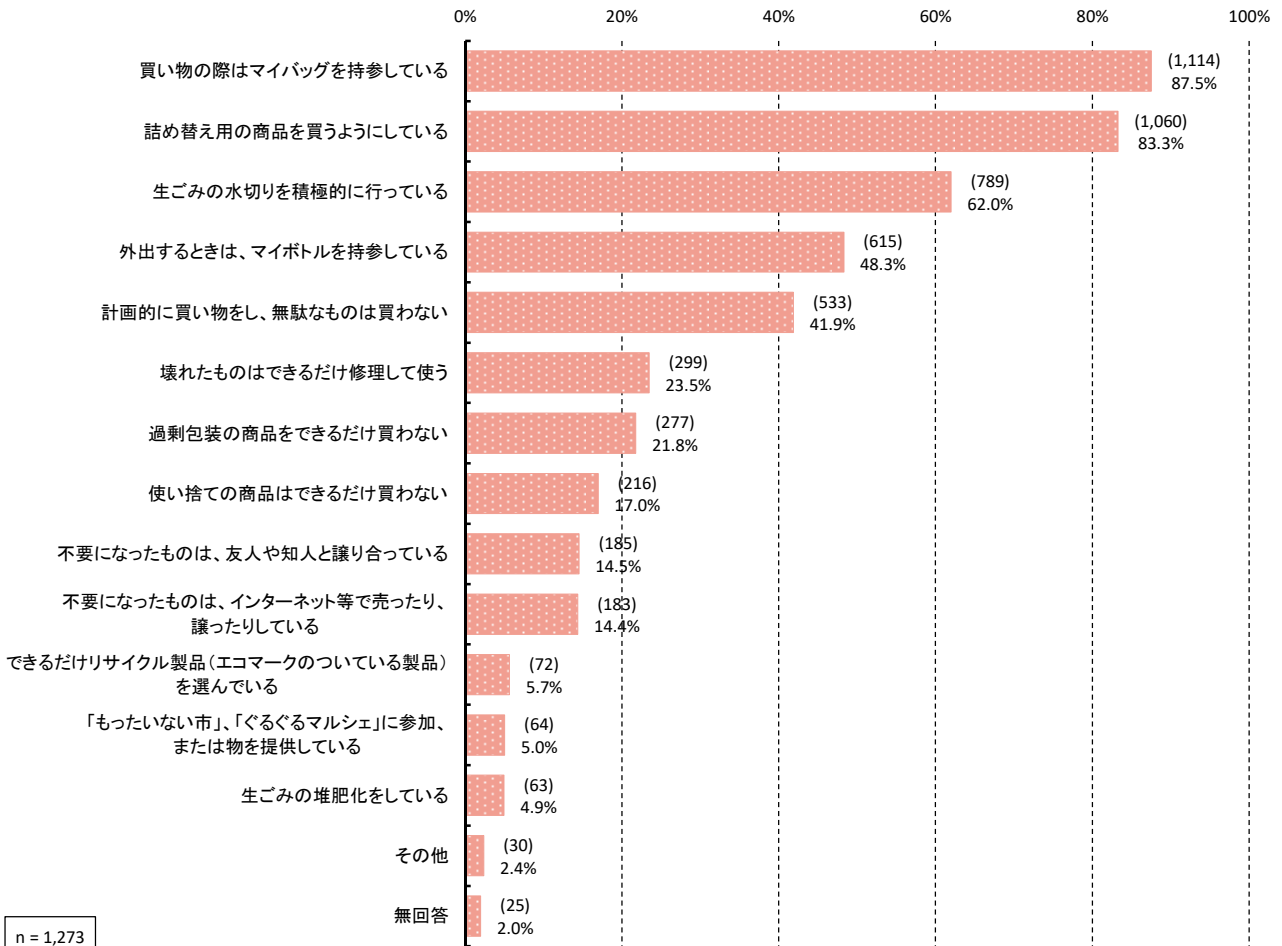
「言葉も内容も知っている」及び「内容はよく知らないが、聞いたことがある」と回答した者の割合を合わせると6割程度となっています。

n = 1,273



**問 7** あなたは、ごみの減量化やリサイクルのために何か取り組んでいますか。【あてはまるもの全てに○】

「買い物の際はマイバッグを持参している」と回答した者の割合が87.5%で最も高く、次いで「詰め替え用の商品を買うようにしている」の83.3%、「生ごみの水切りを積極的に行っている」の62.0%などとなっています。

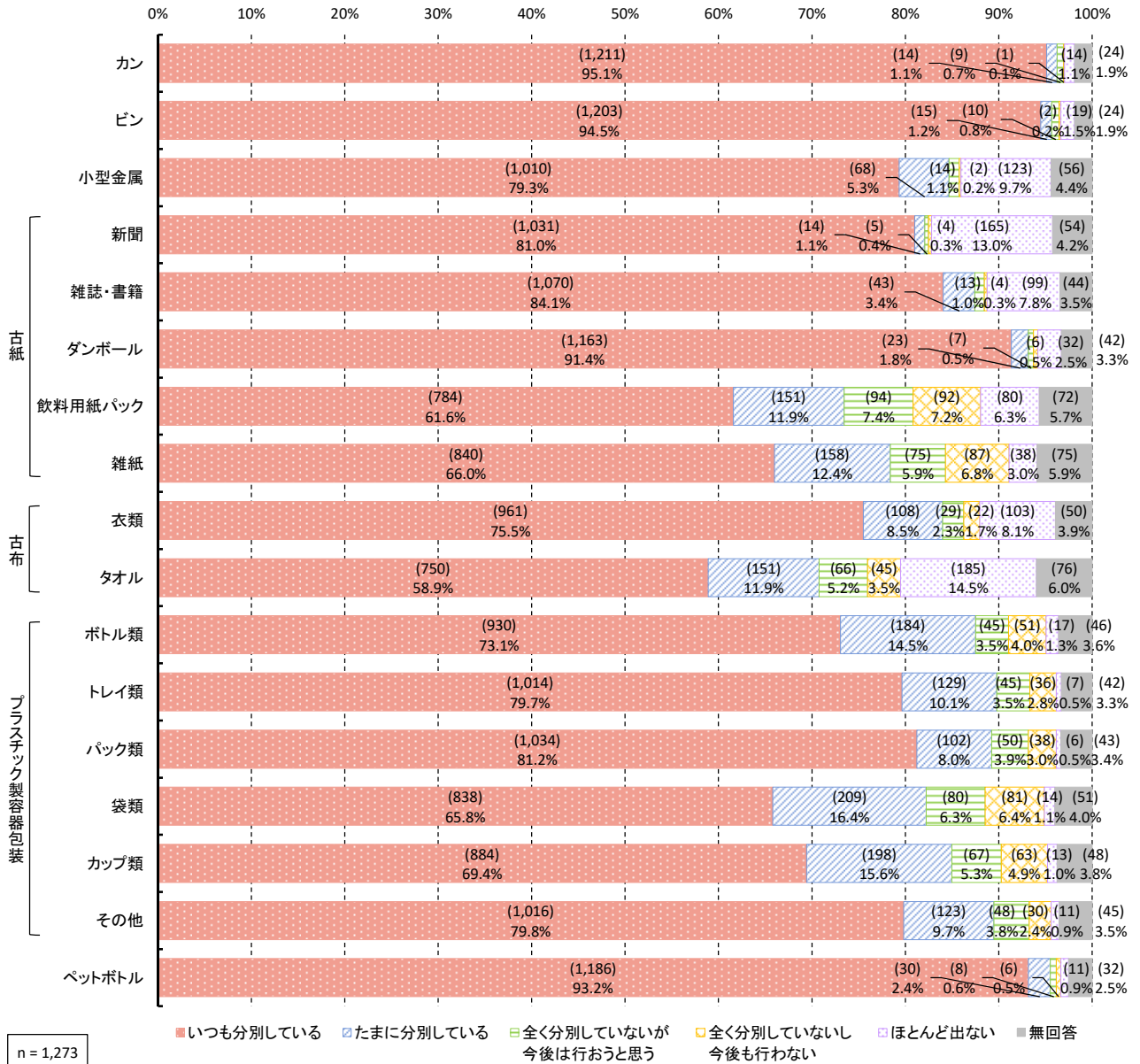


n = 1,273

問 8

本市では、資源ごみとして、カン、ビン、小型金属、古紙、古布、プラスチック製容器包装、ペットボトルの分別収集を行っています。  
 あなたは、これら資源ごみについて分別を行っていますか。【あてはまるものにそれぞれ1つだけ○】

「いつも分別している」と回答した者の割合は、「カン」が95.1%で最も高く、次いで「ビン」の94.5%、「ペットボトル」の93.2%、「ダンボール」の91.4%などとなっています。  
 一方で、「全く分別していないし今後も行わない」と回答した者の割合は、「飲料用紙パック」が7.2%で最も高く、次いで「雑紙」の6.8%、「袋類」の6.4%などとなっています。

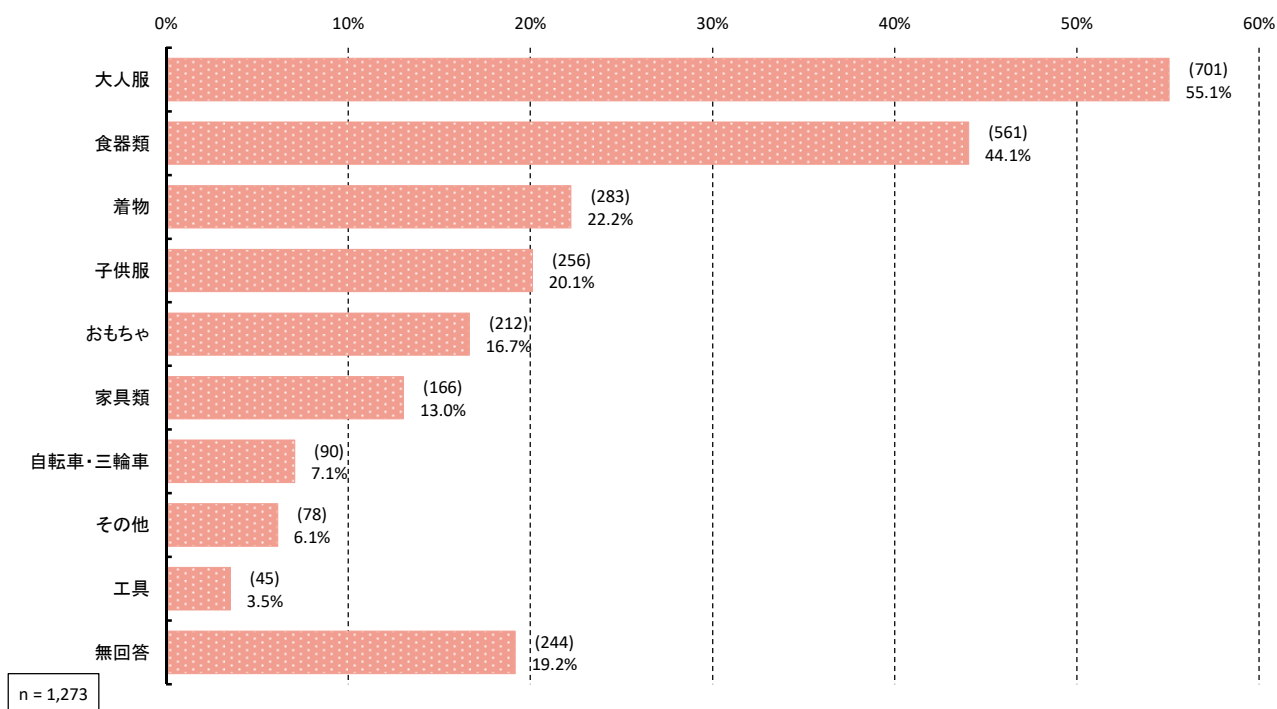




### 問 9

本市では、家庭に眠っているまだ使えるものを他の人に譲り、ものを長く使用する取り組みとして、「もったいない市」や「ぐるぐるマルシェ」などのリユースイベントを開催しています。  
あなたのご家庭では、まだ使えるもので再使用（リユース）できるものはありますか。【あてはまるもの全てに○】

「大人服」と回答した者の割合が 55.1%で最も高く、次いで「食器類」の 44.1%、「着物」の 22.2%、「子供服」の 20.1%などとなっています。

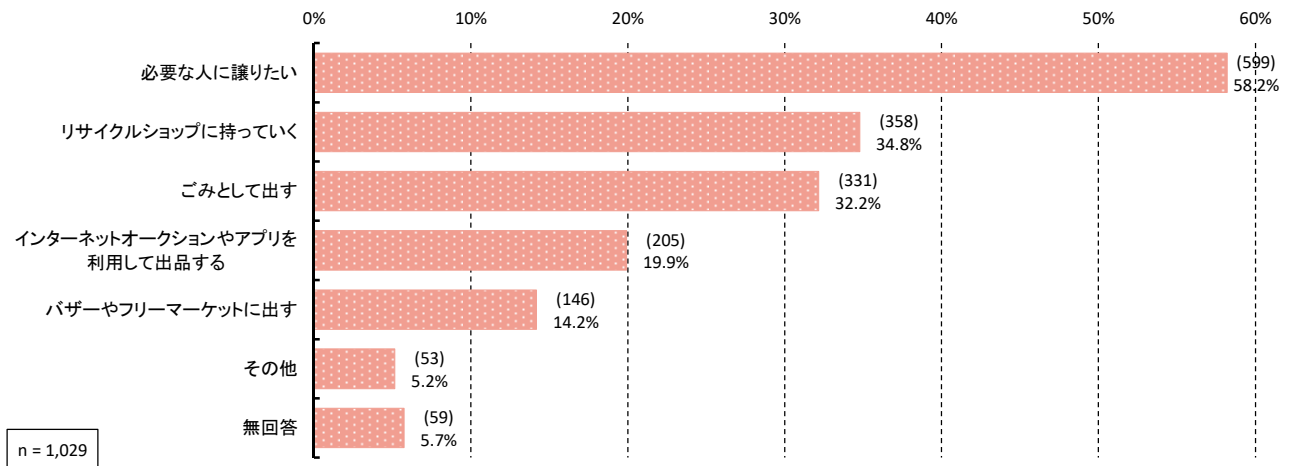


**問 10**

「問 9」で○印をつけた方にお聞きします。

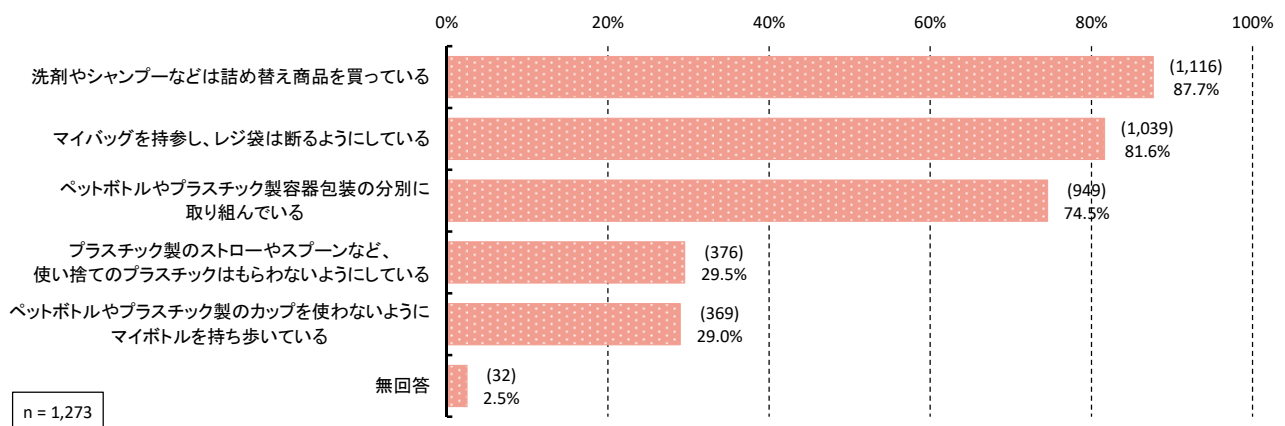
まだ使えるものを、どのようにしたいと思いますか。【あてはまるもの全てに○】

「必要な人に譲りたい」と回答した者の割合が 58.2%で最も高く、次いで「リサイクルショップに持っていく」の 34.8%、「ごみとして出す」の 32.2%などとなっています。

**問 11**

あなたは、プラスチックごみを減らすために何か取り組んでいますか。【あてはまるもの全てに○】

回答者の割合は、「洗剤やシャンプーなどは詰め替え商品を買っている」が 87.7%で最も高く、次いで「マイバッグを持参し、レジ袋は断るようになっている」の 81.6%、「ペットボトルやプラスチック製容器包装の分別に取り組んでいる」の 74.5%などとなっています。

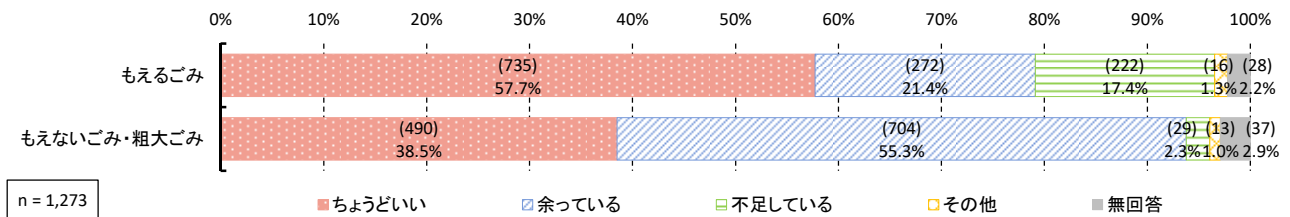


**問 12**

市民の皆様には、一定枚数の「家庭用ごみシール」を無料で配布していますが、配布枚数についてどう思いますか。【あてはまるものにそれぞれ 1 つだけ○】

「もえるごみ」については、「ちょうどいい」と回答した者の割合が 57.7%で最も高く、次いで「余っている」の 21.4%などとなっています。

また、「もえないごみ・粗大ごみ」については、「余っている」と回答した者の割合が 55.3%で最も高く、次いで「ちょうどいい」の 38.5%などとなっています。

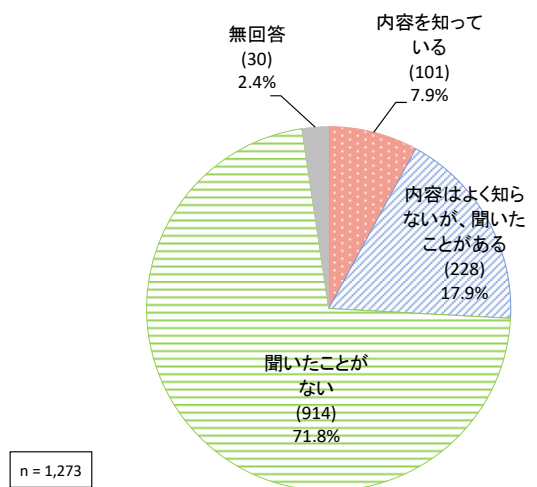


**問 13**

本市では、高齢者または障がい等の理由によりごみの持ち出しが困難な世帯を対象に、ごみの戸別収集と安否確認をあわせて行う「ふれあい収集」を行っています。今年度には、従来の「もえるごみ・資源ごみ」に加えて、「もえないごみ・粗大ごみ」の収集も開始します。

あなたは、「ふれあい収集」を知っていますか。【あてはまるものに 1 つだけ○】

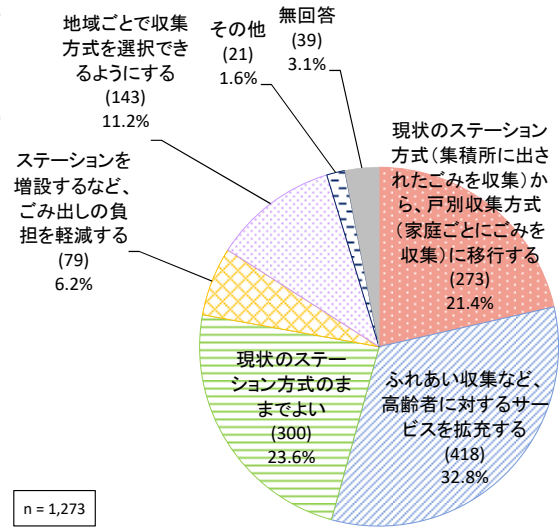
「内容を知っている」と回答した者の割合は 7.9%と低く、「内容はよく知らないが、聞いたことがある」と回答した者の割合を合わせても 3 割以下となっています。



**問 14**

今後の高齢化のさらなる進展によって、一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯など、ステーションへのごみ出しが困難な世帯が増加していく中で、あなたは本市のごみ収集方式を将来的にどうすべきだと思いますか。【あてはまるものに1つだけ○】

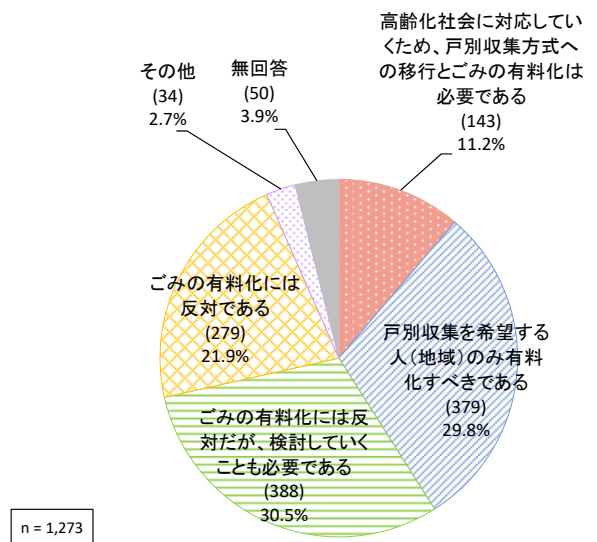
回答者の割合は、「ふれあい収集など、高齢者に対するサービスを拡充する」が32.8%で最も高く、次いで「現状のステーション方式のままでよい」の23.6%、「現状のステーション方式（集積所に出されたごみを収集）から、戸別収集方式（家庭ごとにごみを収集）に移行する」の21.4%などとなっています。



**問 15**

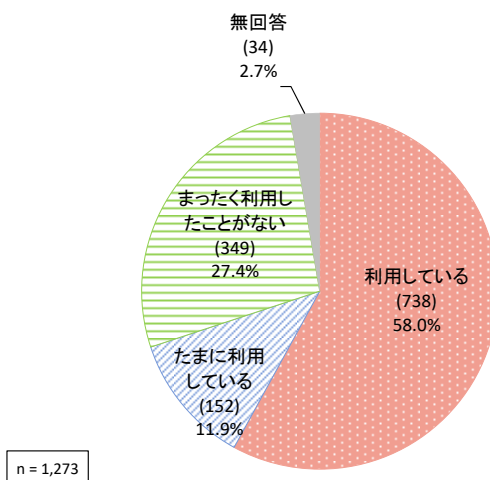
現状のステーション方式から戸別収集方式へ移行した場合、ごみ収集に関する経費の増加が見込まれます。その経費をごみ袋等の有料化で賄う考え方もありますが、あなたはどのように思いますか。【あてはまるものに1つだけ○】

回答者の割合は、「ごみの有料化には反対だが、検討していくことも必要である」が30.5%で最も高く、次いで「戸別収集を希望する人（地域）のみ有料化すべきである」の29.8%、「ごみの有料化には反対である」の21.9%などとなっています。



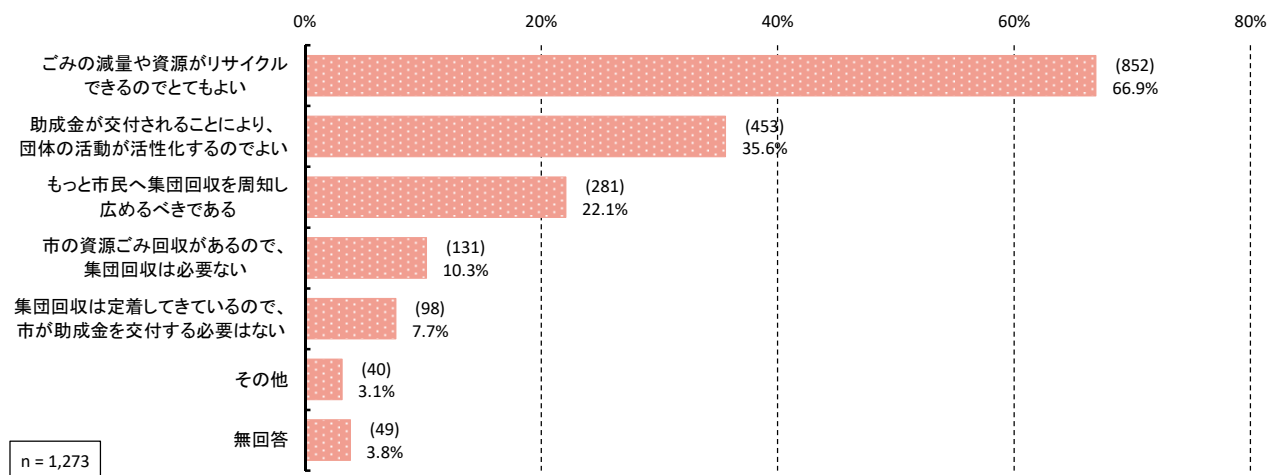
**問 16** あなたは、資源集団回収を利用していますか。【あてはまるものに 1 つだけ○】

回答者の割合は、「利用している」が 58.0%で最も高く、次いで「まったく利用したことがない」の 27.4%、「たまに利用している」の 11.9%などとなっています。



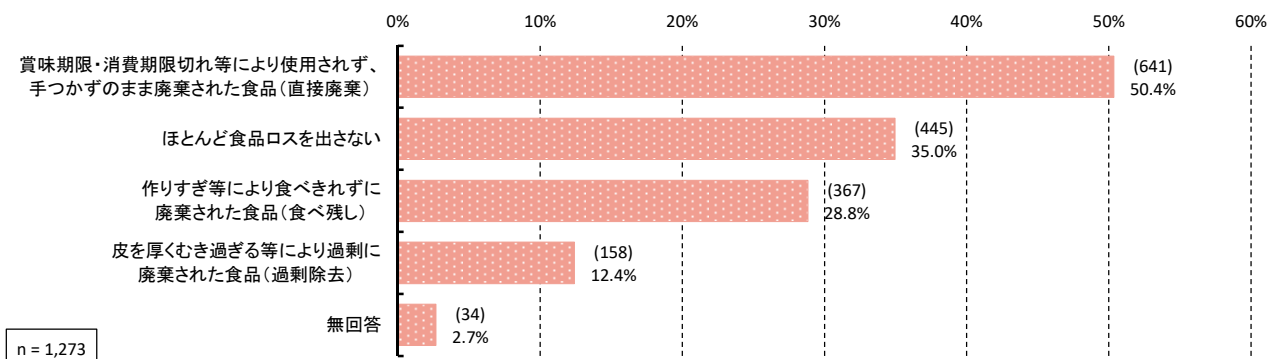
**問 17** あなたは、資源集団回収を行うことについて、どう思いますか。【あてはまるものに 2 つまで○】

回答者の割合は、「ごみの減量や資源がリサイクルできるのでとてもよい」が 66.9%で最も高く、次いで「助成金が交付されることにより、団体の活動が活性化するのでよい」の 35.6%、「もっと市民へ集団回収を周知し広めるべきである」の 22.1%などとなっています。



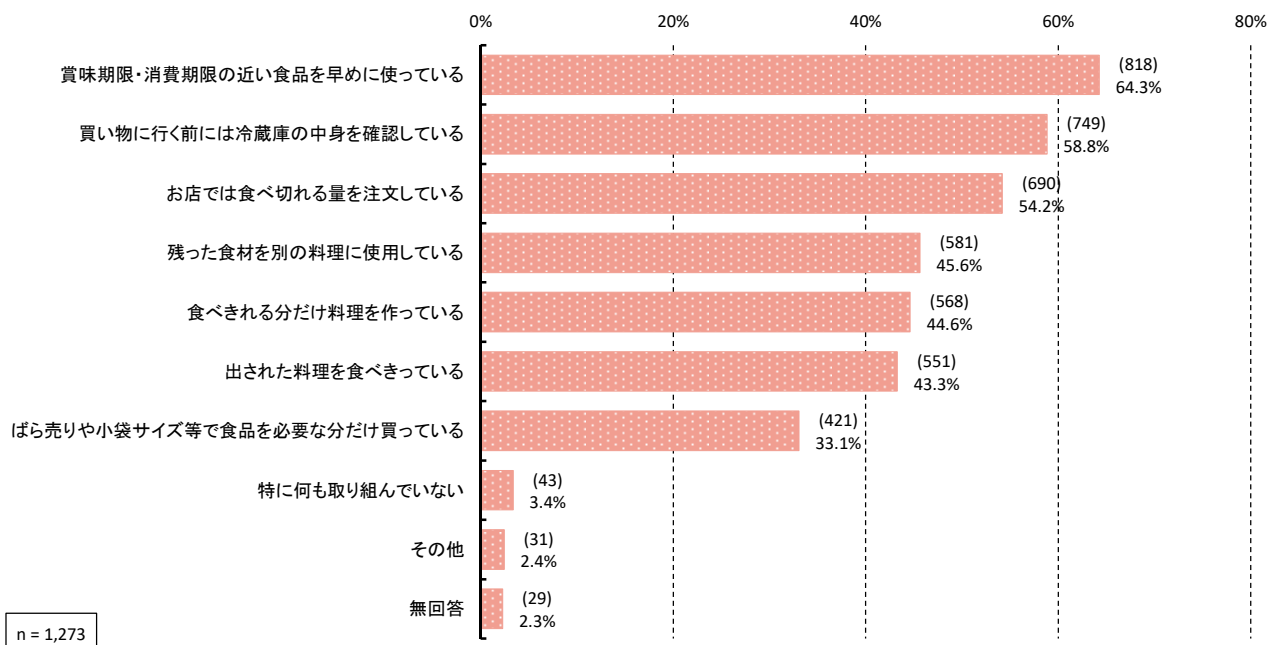
**問 18** あなたが、普段の生活で出すことのある「食品ロス」は何ですか。【あてはまるもの全てに○】

回答者の割合は、「賞味期限・消費期限切れ等により使用されず、手つかずのまま廃棄された食品（直接廃棄）」が50.4%で最も高く、次いで「ほとんど食品ロスを出さない」の35.0%、「作りすぎ等により食べきれずに廃棄された食品（食べ残し）」の28.8%などとなっています。



**問 19** あなたは、「食品ロス」を出さないために何か取り組んでいますか。【あてはまるもの全てに○】

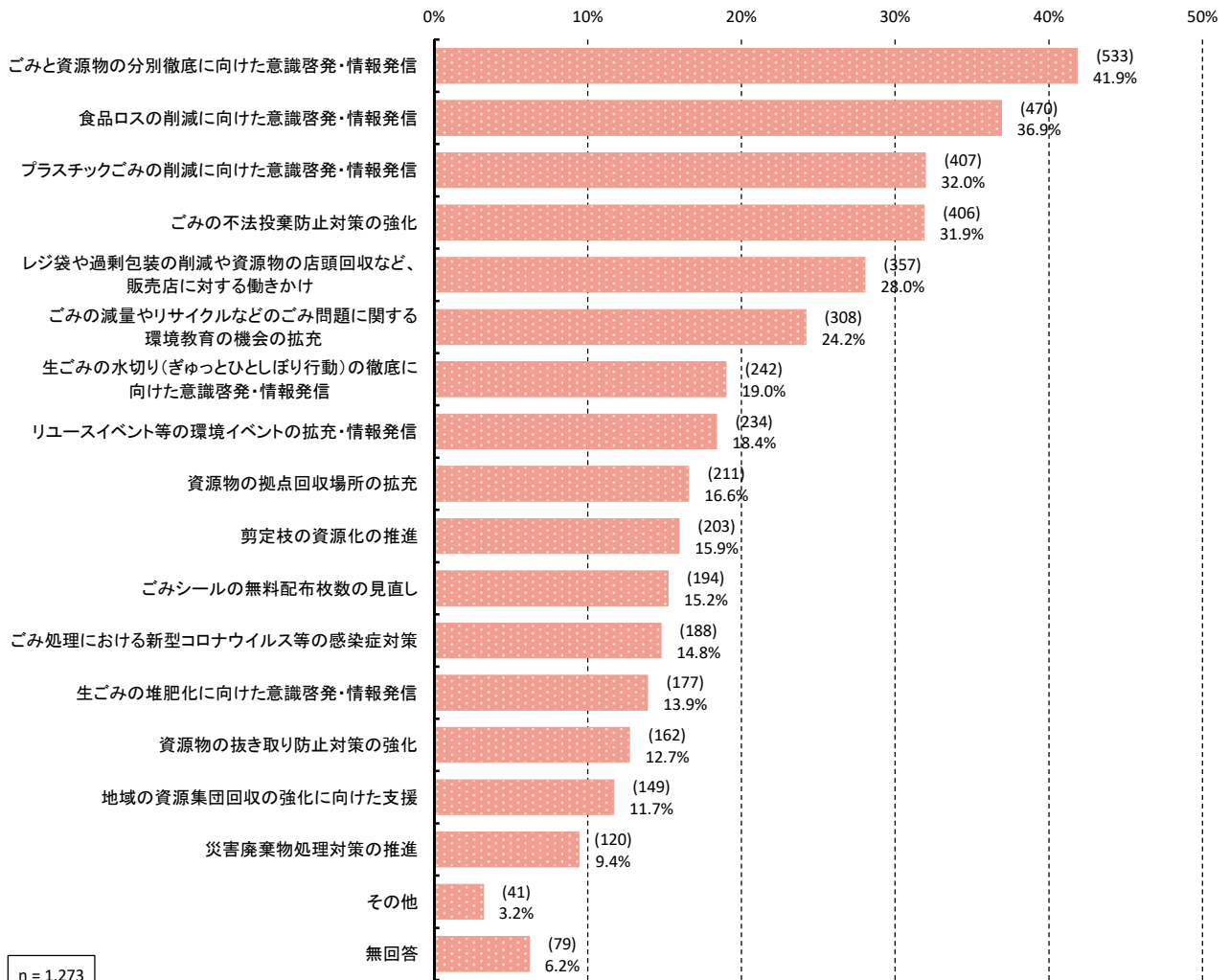
回答者の割合は、「賞味期限・消費期限の近い食品を早めに使っている」が64.3%で最も高く、次いで「買い物に行く前には冷蔵庫の中身を確認している」の58.8%、「お店では食べ切れる量を注文している」の54.2%などとなっています。



問 20

今後、ごみの減量やリサイクル、適正処理のさらなる推進を図るために、ごみの戸別収集や有料化以外で、あなたは本市がどのようなことに取り組むべきだと思いますか。【あてはまるものに5つまで○】

回答者の割合は、「ごみと資源物の分別徹底に向けた意識啓発・情報発信」が41.9%で最も高く、次いで「食品ロスの削減に向けた意識啓発・情報発信」の36.9%、「プラスチックごみの削減に向けた意識啓発・情報発信」の32.0%、「ごみの不法投棄防止対策の強化」の31.9%などとなっています。



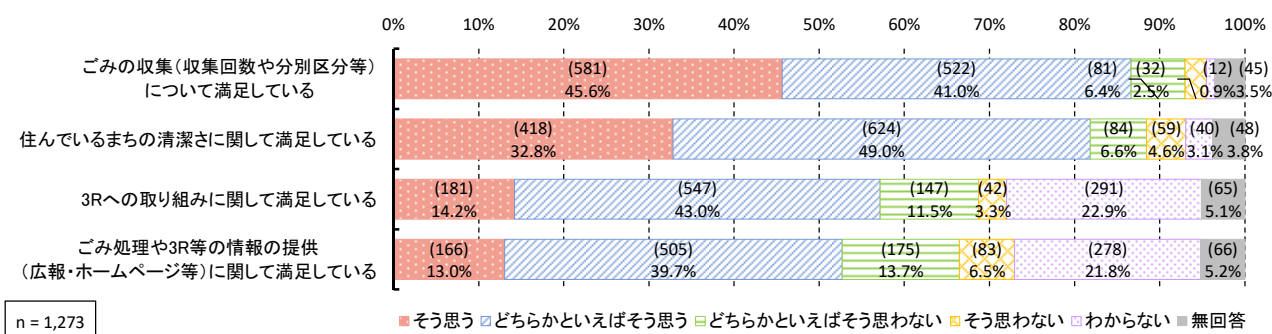
n = 1,273

問 21

あなたは、本市のごみ処理について、どの程度満足していますか。【あてはまるものにそれぞれ 1 つだけ ○】

「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した者の割合は、「ごみの収集（収集回数や分別区分等）について満足している」が 86.6%で最も高く、次いで「住んでいるまちの清潔さに関して満足している」の 81.8%などとなっています。

また、「3R への取り組みに関して満足している」及び「ごみ処理や 3R 等の情報の提供（広報・ホームページ等）に関して満足している」については、「わからない」と回答した者の割合が 2 割程度と高くなっています。

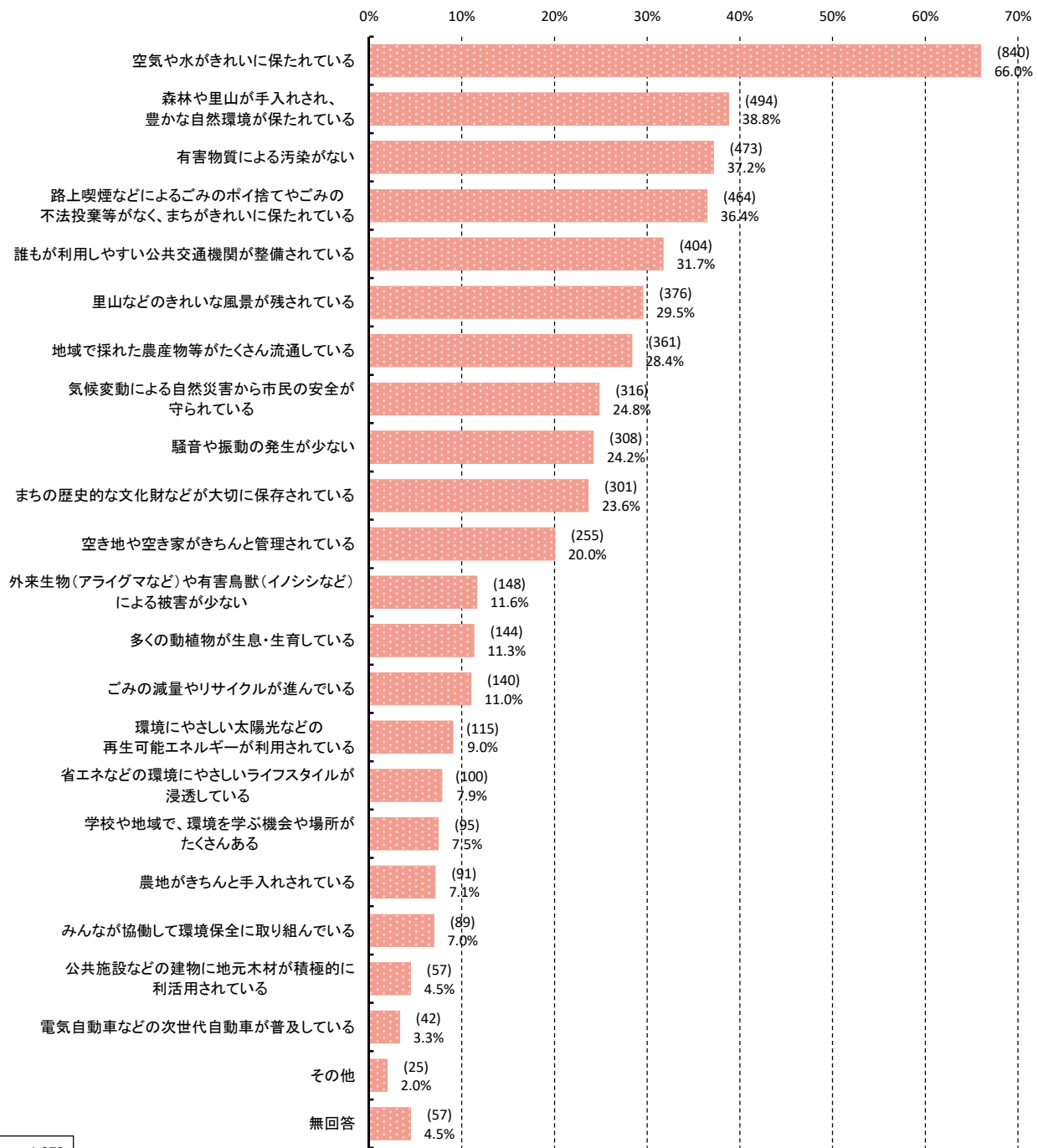




問 22

最後に、本市の環境全般に関することについてお聞きします。あなたは、本市が将来、どのようなまちになってほしいですか。【あてはまるものに5つまで○】

回答者の割合は、「空気や水がきれいに保たれている」が66.0%で最も高く、次いで「森林や里山が手入れされ、豊かな自然環境が保たれている」の38.8%、「有害物質による汚染がない」の37.2%、「路上喫煙などによるごみのポイ捨てやごみの不法投棄等がなく、まちがきれいに保たれている」の36.4%などとなっています。



n = 1,273